

経験学習を通じた模倣とプロスポーツリーグの創設 -Bリーグの事例-

スポーツビジネス研究領域

5015A028-1 鳥居 攻介

研究指導教員：木村 和彦 教授

【序論】

「スポーツ未来開拓会議」の中間報告によると、スポーツが我が国の基幹作業の一つとなることを目指し、新たなスポーツ産業の創出を進めていく必要があるとしている。また、わが国のスポーツを支えてきた、企業スポーツの形態に限界が指摘されており（原田, 2008）、既存の企業スポーツからの脱却を図ることは、新たなスポーツの価値やビジネスチャンスにつながる可能性があると考えられる。そこで、本研究では、新しいプロスポーツリーグの創出事例として期待される「Bリーグ」に着目することとした。

Bリーグは、2005年に発足したbjリーグと実業団リーグの流れを組むNBLをトップリーグの統合を主目的とし、Jリーグの創設者である川淵三郎氏をチェアマンにしたJAPAN 2024 TASK FORCE（以下、タスクフォースまたはT.F）によって統合されたことにより誕生した。タスクフォースでは、川淵氏が「Jリーグの経験から必要なものを取捨選択した（河北新報, 2016年6月15日）」と述べているように、主に川淵T.Fチェアマンの経験とJリーグをモデルとしたことが推測される。

近年ではBリーグがJリーグをモデルにしたように、プロスポーツの世界に限らず、一般企業経営において、いわば他社を「模倣」して成功を収めている事例が多く見られ、注目されてきている。

しかし、プロスポーツリーグを創設する際に、何を模倣し、どのような経験が活かされているのかは明らかにされていない。

【先行研究の検討】

一般の経営学の分野では、模倣と経験学習についての研究蓄積がされてきており、近年ではイノベーションとの関連についての研究が目立つ。他

方で、プロスポーツリーグに関する研究では、一般の市場と異なり、特殊性を持つことは明らかにされているものの、創設過程に関する研究や模倣を取り扱った研究の蓄積はされていない。しかし、本研究で対象としたBリーグ以外にも、バレーボールや卓球などの競技でもプロスポーツリーグ構想が明らかにされており、研究の蓄積が必要であると考えられる。

【研究目的】

Bリーグを創設した事例を分析し、Bリーグの創設に何が模倣され、どのような経験学習が有効かを明らかにする。また、Bリーグ創設における成功要因を明らかにし、企業の先行研究の結果と比較することにより、プロスポーツリーグの創設に生じる要因の特性を明らかにすることを本研究の目的とする。

【研究方法】

本研究では、井上・永山（2013）の部分模倣によるイノベーションの枠組み（図1）を用い、Bリーグの事例を分析し、どのような経験学習が有効か明らかにした。次に、井上・永山（2013）の先行研究の結果と比較を行い、プロスポーツリーグの創設過程に独自生じる要因を明らかにした。

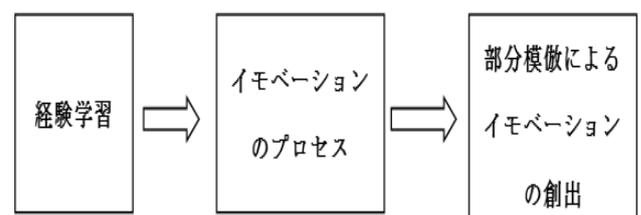


図1 部分模倣によるイノベーションと経験学習の枠組み

【調査方法】

本研究では、Bリーグを創設するにあたってFIBAによって結成された、タスクフォースのメンバーを対象として、調査を行った。また、使用するデータは客観性を保つため、複数の情報源から得た（Jick, 1979）。具体的には、公刊資料（タスクフォース議事録及び会見録、Bリーグ創設に関する新聞記事、タスクフォースメンバーへのインタビュー記事、川淵 T.F チェアマンの書籍）とタスクフォースメンバーへのインタビュー調査によってデータの収集を行った。

【分析方法】

収集したデータの分析は4段階に分けて行う。第1段階は、収集した資料を時系列並びに部分模倣のプロセスに仕分ける。第2段階は、デュアルコーディング手法を用いて、仕分けたデータのコーディングを行う。第3段階として、コーディングした概念間の因果関係の分析を行った。最後に、先行研究の結果と、Bリーグの分析結果を比較し、スポーツリーグ独自に生じる要因を明らかにした。

【分析結果】

分析の結果、イモベーションのプロセスに与えた成功経験と失敗経験をまとめると、図2となった。本研究では、すべてのプロセスに成功経験が影響を与えていたことが明らかとなった。また、失敗経験は①目的意識の醸成、②過去の省察、第⑤問題の事前回避、⑥過去の活動に影響していた。

次に、井上・永山（2013）32の研究結果と本研究の結果を比較すると、本研究では、失敗経験よりも成功経験がイモベーションのプロセスに影響していることが分かった。

【考察・結論】

プロスポーツリーグ独自の制度や規定を作成する際に、他のプロスポーツリーグの成功経験が必要とされたと推測される。よって、プロスポーツリーグ創設過程では成功経験が有効であると考えられる。また、経験学習の中でも、特に模倣対象についての直接経験がイモベ

ーションを促進させたことも明らかとなった。

競技の域を超えた協力関係もプロスポーツリーグの創設に生じる要因の特性であった。

2点目のBリーグ創設における成功要因とプロスポーツリーグの創設に生じる要因の特性としては、まず、イモベーションを引き起こすため組織体制が明らかとなった。イモベーションを引き起こすためには、プロスポーツリーグを創設する主体となる、中央競技団体に「失敗経験」に加えて、「競技の向上・普及」といった「価値観の共有」と改革を受け入れられる組織体制が必要とさせる。また、既存のメンバーにこだわるのではなく、必要に応じて、経験を持つメンバーを追加することが可能な組織の仕組みの整備をすることも重要な要因であった。そして、Bリーグの創設課程に、サッカー界の協力があつたように、競技の域を超えた協力関係もプロスポーツリーグの創設に生じる要因の特性であった。

【研究の限界・今後の課題】

本研究は、Bリーグ創設時の単一事例にすぎず、他のプロスポーツの創設の際にも、部分模倣の枠組みを用いた事例研究を待たねばならないだろう。また、今後の課題としては、Bリーグは開幕してから4ヵ月程しか経っておらず、イモベーションが持続し、Bリーグがより発展するか、時間をおいて調査する必要があると考えられる。

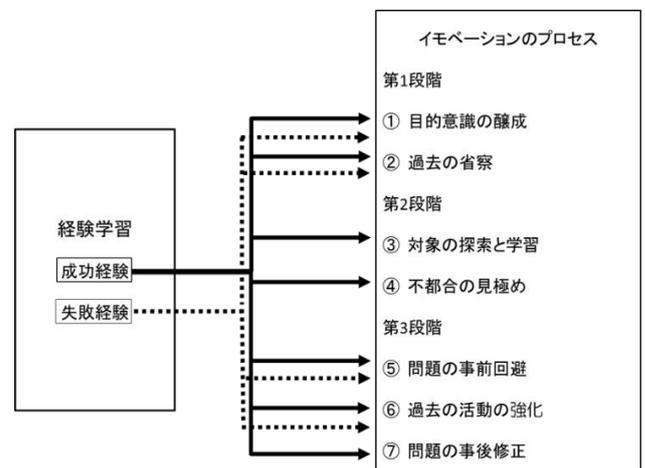


図2 Bリーグの分析の結果